

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 7 日

評価対象事業		評価者	学務課担当課長 中尾 祥子	
教育-40	実施事業	社会教育運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 学務課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課 教育総務課
総合計画上の位置付け	分野	生涯学習	施策の方針	多様な学習機会の提供と学習成果の活用

1 事業の目的

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

対象	市民等	・鎌倉市PTA役員等を対象とした研修会を開催した。 ・鎌倉市PTA連絡協議会の活動に対し、補助金を交付した。
意図	「生きがい」や「自己の実現」のみならず、地域社会の活性化や高齢者の社会参加の促進など、豊かな地域づくりを目指すため。	
効果	「誰もが、いつでも、どこでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価される」ような生涯学習社会を構築する。	

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,436人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	82,444世帯	世帯数	83,058世帯	
	事業の対象者数	7,534人	事業の対象者数	7,300人	
運営資源状況	決算値(千円)	156	当初予算(千円)	156	
	国県支出金	-	国県支出金	-	
	地方債	-	地方債	-	
	その他	-	その他	-	
	一般財源	156	一般財源	156	
	人員配置数	0.1	人員配置数	0.1	
事業経費運営	総事業費(千円)	955	総事業費(千円)	977	
	市民1人当りの経費(円)	5	市民1人当りの経費(円)	6	
	対象者1人当りの経費(円)	127	対象者1人当りの経費(円)	134	
	人件費(千円)	799	人件費(千円)	821	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	<input type="radio"/> 負担導入済 <input type="radio"/> -1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
	協働	<input type="radio"/> 協働実施済 <input type="radio"/> -2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 近年、PTA活動の有効性について保護者の理解を深めるため、補助金を効果的に活用し、PTA活動の必要性と存在意義について検証し、周知を図っていく。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	鎌倉市PTA連絡協議会と連携し、保護者と教育関係者相互の協力関係を構築することにより、学校を中心とした子どもたちの健やかな育ちの環境向上に取り組んでいる。 近年、PTA活動については、PTA役員等の過重な負担が問題視されているが、市・学校・保護者等との円滑な連携を継続的に図るため、PTA組織の必要性は非常に高く、今後は、その必要性と存在意義について地域・保護者等に周知を図るとともに、PTA役員への負担軽減に向けた検討を行っていききたい。	

令和元年度(2019年度)事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	・PTA活動に対する一部保護者からの苦情	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	・保護者からの意見等について市PTA連絡協議会役員会で情報共有するとともに、PTA指導者研修会及び市P大会において、PTA活動に対する意識の啓発及び必要性について周知を図った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・継続して一部保護者からの苦情が続いているが、PTA活動の必要性について、今後も継続して周知を図っていく。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	鎌倉市PTA連絡協議会への加入校数					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
鎌倉市のPTA活動の活性化及び役員負担軽減に一丸となつて取り組むため	目標値					18	18			
	実績値					17	17			
	達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	94.4%	94.4%			

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	PTA活動に対する否定的な意見があり、負担の大きさが問題視される中、その必要性を地域や保護者に周知していくためには、鎌倉市PTA連絡協議会の活動を主軸とし、PTA活動の必要性について継続して周知を図っていくことが大切である。役員負担を軽減しつつ、有意義な活動内容の実施について市PTA連絡協議会とともに検討を行い、加入校数の現状維持または増加を目指していきたい。
-----------------------	---